



▲桑村さんが乗り込む最新型のドクターヘリ



▲ヘリ内部の医療機器を操作する桑村さん

医療法人 溪仁会 手稲溪仁会病院  
フライトナース  
くわむらな おき  
桑村直樹さん

医療機器を搭載し、患者を治療しながら搬送するドクターヘリ。まだ全国的にも導入している病院は珍しいのですが、手稲溪仁会病院には最新型が1機配備されています。桑村さんは、そのドクターヘリに乗り込む看護師「フライトナース」として、人の命を救うため奔走しています。

看護師として救急医療に従事していた桑村さんは、ドクターヘリが本格運航される際に、フライトナースを志願しました。「病院内で働く看護師との違いは、患者を待つのではなく迎えに行くこと」と桑村さん。ドクターヘリは出動要請から約3分で離陸して、100キロメートル圏内の現場へ向かいます。フライトナースはその出動先で、限られた医療器材を使用し、その場に応じた治療を行わなくてはなりません。時には、治療が難航する場合もあり、「屋外で治療するので、冬には寒さで手が冷たくなり点滴などの処置が大変です。また、ヘリの搭載人数が限られているため、重症患者が多い場合は搬送方法をどうするかなどの重要な状況判断をしなければなりません」と、現場で看護を行うフライトナースならではの苦労を聞かせてくれました。

これまで、フライトナースとしての経験を積み上げてきた桑村さん。今後の抱負について「将来的にドクターヘリを導入する施設が増加すると思うので、各施設との情報交換を密にしてフライトナースの質向上に貢献し、北海道全体の医療をより充実させていきたいです」と語ってくれました。

編集 手稲区役所総務企画課広聴係

ホームページ「ていねっていいね」<http://www.city.sapporo.jp/teine/>

〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目

☎681-2400内線224 FAX681-6639